

2017-8年度活動計画(2017年10月1日～2018年9月30日)

**A. はじめに**

**B. 人材育成事業**

1. 勉強会開催
2. 他機関との連携

**C. 研究事業**

該当なし

**D. 実践事業**

1. マウシガ村
2. 愛泉会への医師派遣
3. 他 NGO などとの連携

**E. 事務局業務**

1. 事務所
2. 運営
3. 広報
4. 会員

**F. 会計(収支計算書も参照)**

## A. はじめに

2017年10月からの新しい年度は、今までの勉強会を維持しつつ、設立時からの目標であった東ティモールでの地域保健プロジェクト立ち上げを具体化する。また、今まで積み上げてきた勉強会コンテンツを整理し、ウェブサイトの充実させること、ニュースレターを発行することが目標である。

## B. 人材育成事業

### 1. 勉強会開催

3シーズンに渡って継続してきた勉強会は、2016-17年度末で累積50回となった。12月8日に第1回を開催予定、年間6回以上。各回の参加者10名以上、報告の充実を2016-17年度の目標とする。

### 2. 他機関との連携

引き続き、他団体(候補として名古屋市立大学看護学部とPaz大学)と連携したプロジェクト形成を模索する。

## C. 研究事業

昨年度実績、今年度計画はなく、法人の事業内での位置づけを検討する必要がある。

## D. 実践事業

### 1. JICA 草の根技術協力支援型への提案

JICA 草の根技術協力支援型 2018年度第1回公募に「東ティモール・ディリの保健センターにおける、保健情報の質改善と活用(仮題)」を提案する(6月予定)。

### 2. マウシガ村との交流

マウシガ村の小学校との交流は、プロジェクト形成とは関連付けず、不定期、間接的に継続する。

### 3. 愛泉会への医師派遣

引き続き医師派遣の要請があり、愛知国際病院は法人会員でもある。また、法人の主な収入源となっているため、今後も土曜日半日の派遣を継続する。2017-18年度は今までの業務維持を目標とする。他の活動との関連付けを検討していく。

### 4. 他 NGO などとの連携

AHIなど近隣NGOとの協働を適時行っているが、今後どのように連携するか検討する。NPOステーションの親団体である外国人医療センター(MICA)には、当面ボランティアベースで協力する。

## E. 事務局業務

### 1. 事務所

NPOステーション(名古屋市中区)に机1つ、書庫2つの賃貸とキャビネット設置の契約をしていたが、法人登録住所である名古屋市瑞穂区へ戻ることを計画中である。

## 2. 運営

2016-17年度は、代表理事が週2回(うち1回は愛知国際病院への派遣)、事務員が週1回(前半)、または2回(後半)、決算と納税は税理士に、uminサイト維持はシステム開発会社プロテック、法人登記は司法書士に依頼する。

## 3. 広報

今までのuminサイトとFBページの維持を維持する。サイトでは、これまでの事務局開催分勉強会、および、2016-17年度に開催した「健康をささえる社会のしくみを考えよう」の会員限定資料公開を目標とする。「健康をささえる社会のしくみを考えよう」の資料冊子とニュースレター第1号の発行は年度はじめにできる予定である。

## 4. 会員

「健康をささえる社会のしくみを考えよう」資料冊子とニュースレターを活用して、入会済みの会員報告をするとともに、引き続きサポートと参加をお願いする。

## F. 会計(収支計算書も参照)

収入は、愛泉会からの派遣料が主となる。非収益事業収入については勉強会費と会費の確実な回収につとめる。

2018年6月にJICA草の根技術協力支援型への提案を目標としているが、採択されたとしても、来年度(2018年10月～)以降となる。

支出は、事務局維持(人件費、家賃、光熱費、通信費)と勉強会開催(会場費、講師謝金・交通費)が主になる。